

学院部「和讃要義」山本攝叡

普段よく拝読する和讃を中心に、講読を進めます。具体的には、『正信偈』と共に拝読する『讃阿弥陀仏偈和讃』、『三部経』の中で拝読する和讃など、なじみの深い和讃を中心に講読を進め、お勤めをしながら十分に意味が理解できていない和讃を、よく味わえるようにします。その上で、真宗教義の根幹となるような和讃についても取り上げ、教義理解の助けとなるようにしたいと思います。